

COPD は、有毒な粒子やガスを吸い込んで罹る進行性の疾病のことです。主な原因は喫煙で、他には粉じんや化学物質などが考えられます。重症化すると、少し動くだけでも息切れてしまい、酸素吸入が必要になるなど、日常生活に大きく影響してしまいます。

長引く咳・痰・息切れなどの症状ですが、自己判断で、「加齢のせい」「風邪をこじらせた」などと思い込んでいませんか？

以下の項目をチェックしてみてください。（特に喫煙者はシビアに）

④一日に何度も咳が出る ④息切れしやすい ④呼吸するとゼイゼイ、ヒューヒューという音が出る ④タバコを長期間吸っている（吸っていた） ④黄色っぽい粘り気のある痰ができる ④40歳以上である

思い当たる症状がある人は、まず、スパイロメーターで呼吸機能検査を受けて診断してもらい、必要に応じて呼吸器科の専門医に診てもらうことが肝要です。ほかに、胸部X線検査、CT検査、血液検査、心電図などによって COPD の症状を詳しく調べていきます。40歳以上の長期喫煙者はリスクが高いといわれています。

▼ 重症化を防ぐポイント ▼

④栄養管理 ④風邪・インフルエンザ予防 ④運動する習慣 ④呼吸トレーニング

日本では、40歳以上の530万人以上がCOPD患者で、60代以上が患者全体の約9割を占めているのです。治療を受けている人は約22万人(5%弱)。

都道府県後期高齢者医療広域連合は、「後期高齢者医療保険」の加入者が死亡した場合、遺族（喪主）への葬祭費の助成を行っている。

この助成を受けるには、遺族は助成金交付申請書類を作成して、葬儀を行った翌日から2年間に、地元自治体の年金保険課等の窓口に提出することが必要です。

助成金は各地の広域連合によって差異がありますが、数万円程度です。このような制度があることを本人を含めて家族などにも周知しておきましょう。

（東京都福祉保健局パンフから）